

景観配慮事項説明書 [大阪市景観計画：良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項]

届出者 住所

氏名

1 共通事項

○計画地の景観形成を考えるにあたっては、まず、計画地及びその周辺の地域特性や景観形成の現況を把握した上で、どのような考慮をしたか計画地の状況や計画の主旨など踏まえて記入してください。

基準	着眼点	自己評価	計画地周辺の現況等記入欄
・良好な都市景観の形成に向けて、敷地周辺の景観の状況を把握し、地域の歴史やまちの成り立ちを考慮したうえで、建築物等の配置、規模、形態意匠などについて、地域全体として調和のとれたものとなるよう努めること。	地形的特徴		
	都市基盤等		
	歴史		
	周辺建物のデザイン		
	まちなみの連続性		
	街路からの眺望		
	眺望景観		

2 建築物の建築等

○1で整理した内容をふまえ、各項目とその基準について、自己評価を行いその配慮した事項について記入してください。

項目	基準	着眼点	自己評価	配慮事項記入欄
外 壁	・外壁は、周辺景観と調和するよう、形態意匠を工夫すること。 ・建築物の正面だけでなく、道路等の公共空間から見える側面や背面の意匠も工夫すること。 ・建築物が主要道路の交差点、屈曲部、突き当り等、多くの人の視線を集めやすい場所に位置する場合は、特に景観上の工夫すること。	開口部による演出		
		バランスのとれたデザイン		
		外壁の分節化		
		低層階の用途・デザイン		
バルコニー等	・バルコニー等は、建築物全体と調和するよう、形態意匠を工夫すること。	特徴あるまち角		
		バルコニー等の位置・デザイン		
屋外階段	・屋外階段は、建築物全体と調和するよう、形態意匠を工夫すること。	屋外階段の位置・デザイン		
建築設備（1）	・配管設備などは、道路等の公共空間に面する外壁に露出させないように工夫すること。やむを得ず露出する場合は、建築物全体と調和するよう、形態意匠を工夫すること。	配管、ダクト等の隠ぺい		
		やむを得ない場合の措置		

自己評価 ◎：十分配慮した ○：配慮した ×：配慮できなかった ー：非該当

項目	基準	着眼点	自己評価	配慮事項記入欄
建築設備（2）	・高架水槽や冷却塔設備などを屋上に設置する場合は、ルーバー等により目隠しをするなど修景措置を講ずること。やむを得ず措置ができない場合は、道路等の公共空間から見えにくい位置に設置するよう努めること。	建築設備の建築物とのバランス・デザイン		
		目隠しの材料・材質、色彩		
		まちなみとの調和		
		塔状設備の修景		
附属設備	・駐車場、駐輪場、ゴミ置場などは、建築物全体や周辺景観と調和するよう、形態意匠を工夫すること。	配置		
		駐車場等の出入口		
		広告物、サイン等		
材 料	外壁などの材料は、汚れにくいもの、維持管理が容易なもの又は経年変化に耐え得るものとする。	建築物の材料・材質		
		建築物のデザイン		
色 彩	・建築物の色彩は、周辺景観に配慮すること。	建築物の色彩		
外 構	・敷地内の空地は、歩行者空間の確保や緑化に努め、建築物や周辺景観と調和した形態意匠とするよう工夫すること。 ・植栽は、周辺景観と調和するよう、樹種も考慮して、高木・中木・低木を適切に配置するよう努めること。	空地等		
		植栽		
		周辺環境に配慮した緑空間や公共空間の演出		
垣又はさく	・道路等の公共空間に面して垣又はさくを設置する場合は、閉鎖感のあるものは避け、透視可能な構造とするなど、周辺景観に配慮すること。	敷地内の樹木の活用・配置		
		敷地際の演出		
		自然への配慮		
		街路との一体的整備		
		安全性、快適性		

3 工作物の建設等

○1で整理した内容をふまえ、各項目とその基準について、自己評価を行いその配慮した事項について記入してください。

項目	基準	着眼点	自己評価	配慮事項記入欄
配 置	・工作物の配置は、できる限り周辺に圧迫感や威圧感を与えないよう努めること。	まちの特徴と保全・活用		
		建築物とのバランスのとれたデザイン		
色 彩	・工作物の色彩は、周辺景観に配慮すること。	工作物の材料・材質、色彩		